

斎賀医院壁新聞

文献情報と医院案内 斎賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< [消化管出血後のDOAC再開の指針](#) | [TOP](#) | [本院における消化器内視鏡の洗浄・消毒マニュアル新版](#) >>

2018年05月31日

タミフルの小児における効果と安全性

タミフルの小児における効果と安全性
Efficacy and Safety of Oseltamivir in Children:
Systematic Review and Individual Patient Data
Meta-analysis of Randomized Controlled Trials



インフルエンザ治療薬のタミフルに関しては、特に乳幼児から小児にかけて論争があります。2009年のパンデミック以来、米国では生後2週間の乳児でのタミフルの適応が許可されています。また成人では、タミフル服用により入院率の減少が証明されています。しかし乳幼児に関してはその効果は顕著ではありません。タミフルに対して積極的な私にとって強い味方の論文が、今回オックスフォードの Clinical Infectious Diseases から出ましたので掲載してみます。

対象は18歳以下です。97の研究論文を検索して、結局5件の論文研究を選び抜いて解析しています。統計学的知識がないので十分に理解が出来ませんが、その点はご了承ください。(取りあえず、ランダム化にあたって調査を進行出来たグループを解析したのが ITT で、その中でもインフルエンザの有無を確定出来たグループのみを解析したのが ITTI のようです。更にハザード比ではなく、より正確な RMST をもって比較しています??)

纏めますと

- 1) 一度でもタミフルの治療を開始し、最後まで経過観察ができた2,561名を ITT として解析し、その中でインフルエンザウイルスの有無が確定出来たのが1,598名で ITTI として解析しています。
- 2) ITTI の解析で病態期間の短縮が、タミフル群で17.6時間ありました。以前の成人での報告では25時間の短縮と報告されていますが、小児ではそれほどでないとされてきましたし本論文の ITT でもあまり効果が無い結果でしたが、ITTI 解析では明らかな短縮効果が認められました。更に喘息の既往が無い研究ではその効果は顕著で、タミフル群で29.9 時間の短縮でした。この理由ははっきりはしませんが、喘息があるとその症状のために有病期間が長くカウントされるため、としています。プラセボ群との比較で下気道感染症（肺炎合併など）の差は顕著ではありませんでした。しかし喘息患児を有するスタディを見ますと、タミフル群に効果ありとの結果です。その推測と併せて下記のPDFのグラフを参照ください。

<< 2020年01月 >>

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

最近の記事

- (01/24) [心不全発症後の死因の変遷](#)
- (01/22) [SGLT2阻害薬（糖尿病治療薬）は痛風にも有効](#)
- (01/21) [インフルエンザは今後も流行の危険](#)
- (01/21) [重症熱性血小板減少症候群\(SFTS\)は過去最多](#)
- (01/20) [新型コロナウイルス肺炎への対応指針](#)

最近のコメント

- [SGLT2阻害薬（糖尿病治療薬）は痛風にも有効](#) by (01/24)
- [重症熱性血小板減少症候群\(SFTS\)は過去最多](#) by (01/22)
- [インフルエンザは今後も流行の危険](#) by (01/21)
- [脳卒中の再発予防のための血圧管理](#) by (01/04)
- [過睡眠は脳卒中の危険因子](#) by (12/22)

タグクラウド

カテゴリ

- [小児科](#) (188)
- [循環器](#) (196)
- [消化器・PPI](#) (115)
- [感染症・衛生](#) (66)
- [糖尿病](#) (109)
- [喘息・呼吸器・アレルギー](#) (83)
- [インフルエンザ](#) (95)
- [肝臓・肝炎](#) (60)
- [薬・抗生剤・サプリメント・栄養](#)

- 指導(43)
- [脳・神経・精神・睡眠障害](#)(38)
- [整形外科・痛風・高尿酸血症](#)(28)
- [ワクチン](#)(30)
- 癌関係(10)
- 脂質異常(28)
- [甲状腺・副甲状腺](#)(17)
- 婦人科(8)
- [泌尿器・腎臓・前立腺](#)(29)
- 熱中症(7)
- 日記(17)
- その他(63)

過去ログ

- [2020年01月](#)(14)
- [2019年12月](#)(14)
- [2019年11月](#)(15)
- [2019年10月](#)(18)
- [2019年09月](#)(18)
- [2019年08月](#)(14)
- [2019年07月](#)(14)
- [2019年06月](#)(16)
- [2019年05月](#)(14)
- [2019年04月](#)(18)
- [2019年03月](#)(19)
- [2019年02月](#)(19)
- [2019年01月](#)(15)
- [2018年12月](#)(16)
- [2018年11月](#)(20)
- [2018年10月](#)(20)
- [2018年09月](#)(18)
- [2018年08月](#)(24)
- [2018年07月](#)(18)
- [2018年06月](#)(18)
- [2018年05月](#)(20)
- [2018年04月](#)(19)
- [2018年03月](#)(20)
- [2018年02月](#)(14)
- [2018年01月](#)(14)
- [2017年12月](#)(20)
- [2017年11月](#)(17)
- [2017年10月](#)(22)
- [2017年09月](#)(18)
- [2017年08月](#)(20)
- [2017年07月](#)(23)
- [2017年06月](#)(19)
- [2017年05月](#)(19)
- [2017年04月](#)(22)
- [2017年03月](#)(20)
- [2017年02月](#)(18)
- [2017年01月](#)(21)
- [2016年12月](#)(17)
- [2016年11月](#)(25)
- [2016年10月](#)(22)
- [2016年09月](#)(21)
- [2016年08月](#)(20)
- [2016年07月](#)(26)
- [2016年06月](#)(27)
- [2016年05月](#)(24)
- [2016年04月](#)(24)
- [2016年03月](#)(25)
- [2016年02月](#)(23)
- [2016年01月](#)(23)
- [2015年12月](#)(22)

以降はカテゴリーで検索してください。

3) 急性中耳炎の合併のリスクは、タミフル群で34%減少でした。本論文ではこの意義は大きく、小児のその後の聴覚に対する影響を考えると、重要としています。

4) 副作用として、嘔吐はタミフル群で、コントロール群より多くありましたが、吐き気は同じでしたし重大な副作用はありませんでした。(薬剤を服用する事による嘔吐はあるかもしれませんが、服用により吐き気が続くことはないと理解しました。)

5) 以上より、多くのガイドラインに沿って小児はワクチンと相乗して、タミフルの服用を推奨するとしています。

6) リスク比に関しては下記のPDFを参照ください。

私見)

一部の見解でタミフルの逆風を感じています。今シーズンのインフルエンザ流行期に東京の医療機関を受診し、その後発熱が続くとの事で、地元の本院を受診した方がいました。東京の医師には「タミフルは効果が曖昧だし副作用もあるので、本院では処方しない。しないからインフルエンザの検査もしない。そもそもインフルエンザは自然に治る病気だ。」と言われたとの事です。
・・・さすが東京は最先端を行くと感心しました。

私は思うんです。人生においてはぶれない主義や哲学が必要だと。しかし、医療においてはなるべく個人的感情の主義・主張は避けたいものと思っています。アットホームな町医者を目指す私としては、常に冷徹な判断をする事はなかなか難しい事です。

[インフ文献.pdf](#)



 [ブックマーク](#)

【インフルエンザの最新記事】

- ※ [インフルエンザは今後も流行の危険](#)
- ※ [インフルエンザ流行の拡大](#)
- ※ [抗インフルエンザ薬の使い分け](#)
- ※ [インフルエンザ治療薬・ツフルーザの逆襲](#)
- ※ [インフルエンザ情報・日経メディカルより](#)

posted by 齋賀一 at 13:54 | [Comment\(2\)](#) | [インフルエンザ](#)

[RDF Site Summary](#)
[RSS 2.0](#)

この記事へのコメント

インフルエンザは自然に治る病気という、先生のお考えもあるのかと思いますが...

特に感染症に関しては、早期に医療機関を受診して、適切な判断をしてもらい、薬もきちんと服用して、自分だけでなく集団感染を防ぐという考え方もあるのかと(^o^;)

よくいただいてしまう私としては、放置せずお願いしたいとこそですが...

話は変わりますが。

先日は父の事で、先生と馬場先生に大変失礼な事をしてしまったと、父も私も反省しております、先生と馬場先生の判断は正しいと充分認識しておりますm(__)m

先生のお人柄で、色々とわがママを言えると言う事もあるので、失礼をお許し下さいm(__)m

私の事も原因はあると思っておりますので、もう少し様子を見させて下さい。

またご相談させていただく事もあると思しますので、よろしくお願いたしますm(__)m

いつもありがとうございます(^-^)

Posted by at 2018年06月01日 13:31

先生、すみません～(^_ ^;)

またこの後のコメントに誤字があります...

重々と入れたつもりが、充分になってました(^o^;)

今日?もう昨日でした...(^_ ^;)夕方からごった返してて、誰が来てたのかも全く記憶がないのですが...疲労もピークに達すると、それすらもよくわからなくなってます...(-.-)

Posted by at 2018年06月02日 02:32

コメントを書く

お名前:

メールアドレス:

ホームページアドレス:

コメント:

